

ISDN/HDSL線路損失測定器 LLM-373

ISDN/HDSL回線の線路損失を簡単に測定できます

既設のメタリック加入線がISDN/HDSLに使用できるか？ 否か？
そんな回線評価用に使用する測定器です。



■特長

- ◆ ISDN/高速デジタル回線/HDSL方式高速メタリック回線の線路損失が測定できます。
- ◆ 発振器とレベル計を一括收容しハンディタイプにまとめ上げました。
- ◆ 発振器の出力レベルは0dBm固定とし、レベル計の指示がそのまま線路損失の測定値となります。
- ◆ 2Wによる対向通話ができます。
- ◆ 電源は乾電池の他、ACアダプタでも使用できます。

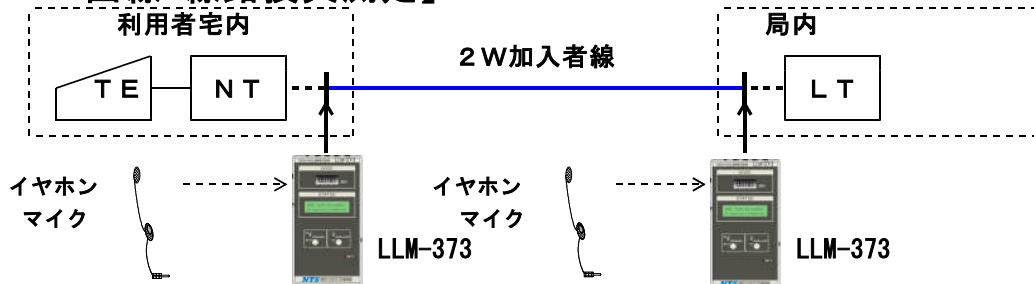
■ 使用例

160/196kHzの発振器を内蔵しており、対向で使用するによりISDN高速デジタル回線/HDSL方式高速メタリック回線の線路損失が測定できます。

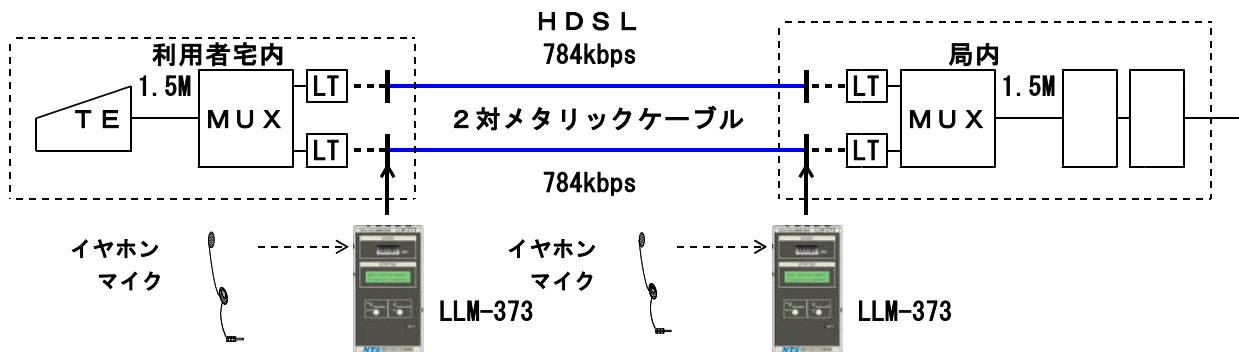
- ① LLM-373を被測定回線の両端に対向に接続します。
- ② 片側LLM-373を発振器出力（送信側）に設定し、反対側LLM-373をレベル計入力（受信側）に設定します。
- ③ 周波数を受信側及び送信側で目的に合った周波数に合わせます。
- ④ 送信レベルが0dBmのため、受信側レベル計の指示値が被測定回線の損失測定値となります。

また、打合せ用回線を別途用意し、通話セット用ジャックに送受話器を差し込むことにより対向通話ができますので、打ち合わせしながら作業が出来ます。

【ISDN回線 線路損失測定】

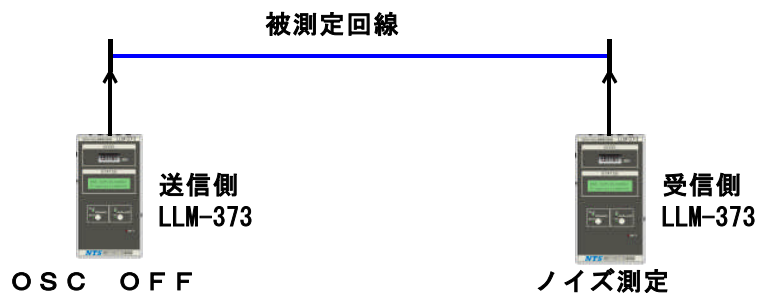


【HDSL回線 線路損失測定】



【ノイズ測定】

送信側でOSCをOFFし、受信側でレベル測定することにより回線に重畳されるノイズ成分を測定することが出来ます。



(周波数指定を必ず目的に合った周波数に合わせて下さい)

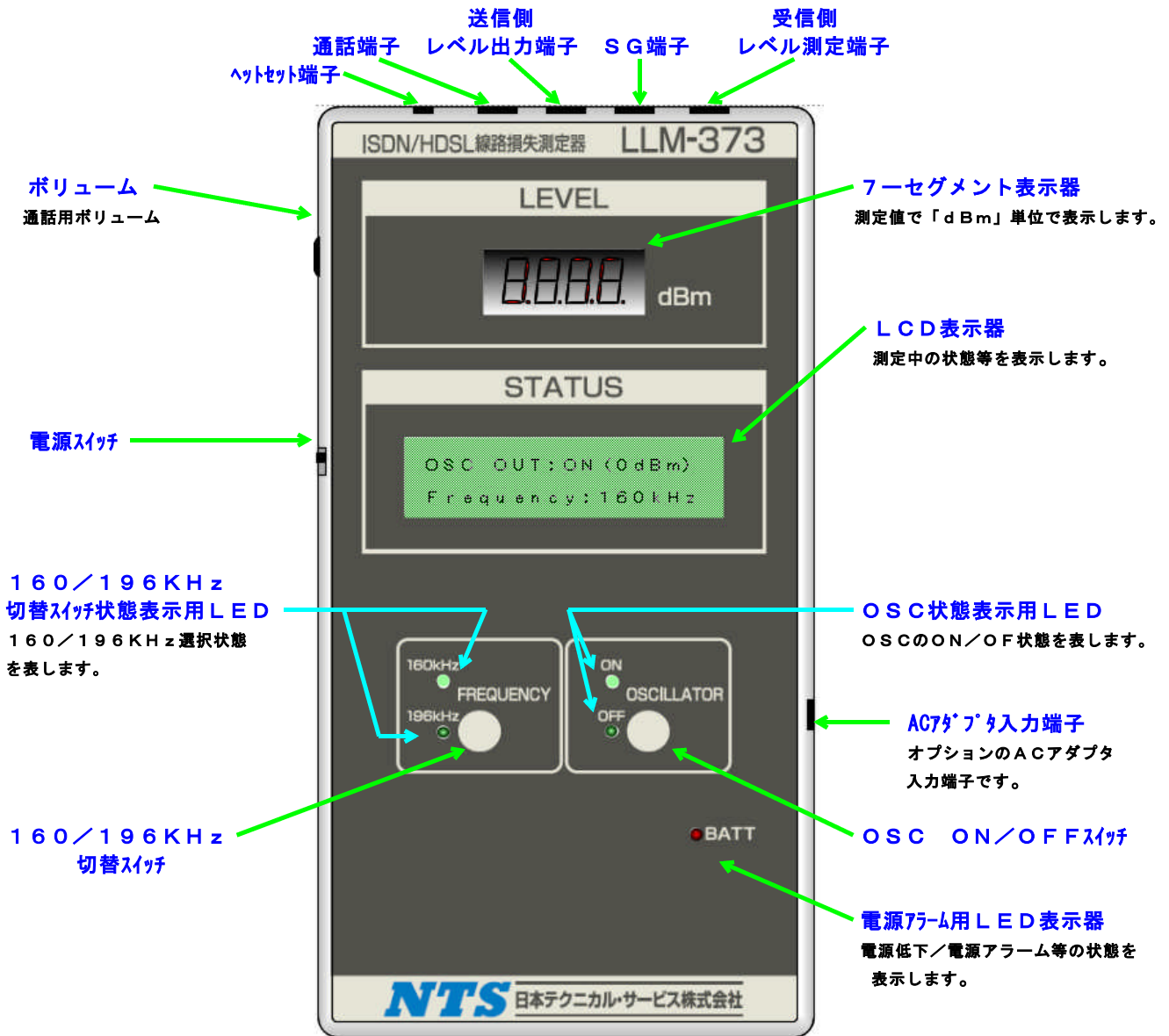
- 【参考】線路損失測定で約-42dBの減衰を目安に回線切り替え作業を行って下さい。
 また、ノイズ測定で測定した値（N値）と線路損失測定で測定した値（S値）を基に、 S/N 値を算出し回線切り替え作業を行って下さい。
 実回線（U点）での着信レベル測定器（BRI U点フレームモタ）を別途用意しております併用してお使い下さい。

BRI U点フレームモタ (UFM-373)



運用回線に影響なく受信レベルが測定できます。

■ 操作部説明



■ 規格

発振器部	発振周波数	160/196 kHz ± 0.1%以内
	出力レベル	0 dBm固定
	出力インピーダンス	110 Ω ± 10%
レベル計部	測定周波数	160/196 kHz
	レベル測定範囲	-60 dBm ~ +2 dBm (+2 dB以上又は-60 dB以下は7セグメントの点滅表示)
	分解度	± 0.1 dB
	誤差	± 0.5 dB
	入力インピーダンス	110 Ω ± 10%
通話機能	入出力インピーダンス	600 Ω ± 20%
	対向間損失	30 dB以内 (音声帯域) で通話可能
	音量調整	ボリュームにて受話音量調整可能
電源	乾電池 単3 (1.5V) 4本 ACアダプタによりAC100V使用可能	
寸法・重量	W102 × H191 × D33 mm 約400 g	

■ 付 属 品

測定コード (M1PS-ミノムシクリップ 1m) ----- 1本
送受話器 ----- 1個
乾電池 単3 ----- 4本
取扱説明書 ----- 1部

■ オプション

ACアダプタ ACP-311M 大井電気製
キャリングケース PC-800 大井電気製

◎仕様及び外観は、改良のため予告なく変更されることがあります。

NTS80002E

NTS 日本テクニカル・サービス株式会社

〒222-0011 横浜市港北区菊名7-3-16 大井電気㈱内
日本テクニカル・サービス株式会社 計測事業部

TEL 045-438-3008

FAX 045-401-8284

新製品の最新情報をホームページで提供しています。<http://www.nittku.co.jp/>

お問い合わせは

